

より良いサービスのため 4月から新組織でスタート

問い合わせは 行政管理課 ☎ 027-898-6537

4月から市役所の組織を変更します。新設する所属と事務室が変更になる所属は下表のとおりです。そのほか、次のとおり組織変更を行います。

- いきいき生活課を生活課に改めます。
- 大胡・宮城・粕川・富士見支所の各総務課を地域振興課に改めます。
- にぎわい商業課ににぎわい係をまちなか再生室に改めます。
- 東部建設事務所農村整備係を農村整備課に移管。農村整備課改良係を改良第一係に、移管した



農村整備係を改良第二係に改めます。また、建設部道路建設課工務第三係が所管する農林水産業務を農村整備課改良第二係に移管します。

- まちづくり課を廃止し、屋外広告物などの関連業務を都市計画課に移管します。
- 公立大学法人化に伴い、前橋工科大事務局を廃止します。
- 観光課が所管していた赤城山ヒルクライム事業をスポーツ課に移管します。

新設する所属				
所属	所在地	担当事務	電話番号	
農政部	有害鳥獣対策センター	東部農林事務所内	有害鳥獣対策、相談事務	027-285-4116
教育委員会管理部	スポーツ課国体推進室	市役所 10 階	平成 27 年 1 月開催予定の冬季国体準備事務	027-898-6001
教育委員会指導部	青少年課いじめ対策室	市役所 10 階	いじめにかかわる対策、相談事務	027-898-3030

事務室が移動する所属				
所属	移動先	担当事務	電話番号	
政策部	文化国際課	市役所 12 階	文化政策、文化振興、国際交流に関する事務	027-898-6522
商工観光部	産業政策課	市役所 12 階	産業政策、企業誘致、雇用対策に関する事務	027-898-6983
	にぎわい商業課まちなか再生室	ミニギャラリー千代田 1 階	中心市街地の活性化に関する事務	027-230-8866
	会計室	市役所 6 階	現金・有価証券の出納・保管、各金融機関との連絡調整、物品の出納・保管に関する事務	027-898-6162

※文化国際課芸術文化推進室は 1 月末からアーツ前橋（千代田町五丁目）に移転しています。

市税は期限までに 計画的な納税をお願いします

問い合わせは 収納課 ☎ 027-898-6226

市税は税の種類ごとに納期が決まっています。右表の納期限までに納付をお願いします。各金融機関や市役所収納課、各支所・市民サービスセンター、コンビニで取られるほか、口座振替やインターネット(モバイル)バンキング、ペイジー対応ATM、クレジットカード、モバイルレジを利用して納付することもできます。

平成25年度市税の納期				
納期	市県民税	固定資産税・都市計画税	軽自動車税	国民健康保険税
4月(30日(火)まで)		1期		
5月(31日(金)まで)			1期	
6月(7月1日(月)まで)	1期			
7月(31日(火)まで)		2期		1期
8月(9月2日(月)まで)	2期			2期
9月(30日(月)まで)		3期		3期
10月(31日(木)まで)	3期			4期
11月(12月2日(月)まで)		4期		5期
12月(25日(火)まで)				6期
来年1月(31日(金)まで)	4期			7期
2月(28日(金)まで)				8期

前橋さんちの家計やりくり帳

本市の歳入・歳出を家計の収入・支出に例えて紹介します。
前橋さん(本市)は独立し(中核市になり)、責任をもって仕事をしています。

《入ってくるお金》		構成比(%)
年 収	(市税、使用料、その他)	547 万円 (55%)
預金引き出し	(繰入金のうち基金繰入金)	9 万円 (1%)
親からの援助	(国・県支出金、交付税、譲与税など)	340 万円 (34%)
ローン借入れ	(市債)	104 万円 (10%)
合 計		1,000 万円

※市税などを年収 547 万円として各経費を算出しています。

《出て行くお金》		構成比(%)
食 費	(人件費)	158 万円 (16%)
医療費・保険料	(扶助費)	186 万円 (18%)
ローン返済	(公債費)	106 万円 (10%)
光熱費・被服費	(物件費)	117 万円 (12%)
自宅修繕	(投資的経費・維持補修費)	158 万円 (16%)
クラブ活動費	(補助費など)	98 万円 (10%)
子どもへの仕送り	(繰出金)	58 万円 (6%)
その他	(積立金、預託金など)	119 万円 (12%)
合 計		1,000 万円

収入はどんなの？

55%を自力で稼いだ年収でカバーし、残りを親からの援助(34%)やローン、預金の引き出しで賄います。ローンは返済とのバランスを考えて、残高が減るように努めながら、預金の引き出しをできるだけ抑えて、将来の生活設計に備えます。



支出の特徴は？

独立し(中核市)責任をもって仕事をしています。家計では、工夫と節約でやりくりします。子育て(児童手当費負担など)や祖父母の介護、医療費(介護保険繰出金など)では引き続きお金がかかりますが、ローンもしっかり返済し、残高を減らします。預金もして、次の自宅修繕に備えます。



借入金残高の状況

福祉、土木、教育関係をはじめとした事業を行う本年度末の一般会計借入金残高(臨時財政対策債の残高を除く)は、970億3,000万円です。また、本年度末の特別会計や市関連団体を含めた全体の

借入金残高は、1,786億3,000万円。前年度に比べて73億1,000万円の縮減ができる見込みです。今後も借入残高の縮減を図り、健全な財政運営を行えるよう努めていきます。

地方債等借入金残高の状況(億円)					
区分	会計	22年度末残高	23年度末残高	24年度末残高見込	本年度末残高見込
前橋市	一般会計	1,405.5	1,424.1	1,455.9	1,473.0
	うち臨時財政対策債	353.8	402.6	455.7	502.7
	うち通常債	1,051.7	1,021.5	1,000.2	970.3
	農業集落排水事業特別会計	81.9	79.3	78.1	75.1
	競輪特別会計	6.3	5.4	4.4	3.4
	簡易水道事業等特別会計(H25.3廃止)	0.0	0.1	0.7	0.0
	母子寡婦福祉資金貸付金特別会計	2.3	2.3	2.3	1.7
	水道事業会計	201.1	195.2	186.3	178.2
	下水道事業会計	480.6	471.9	473.6	469.2
	小計	2,177.7	2,178.3	2,201.3	2,200.6
市の関連団体	小計(臨財債を除く)	1,823.9	1,775.7	1,745.6	1,697.9
	前橋市土地開発公社 ※1	79.5	72.2	54.9	52.5
	前橋工業団地造成組合 ※2	84.0	75.9	58.9	35.9
	小計	163.5	148.1	113.8	88.4
	合計	2,341.2	2,326.4	2,315.1	2,289.0
	合計(臨財債を除く)	1,987.4	1,923.8	1,859.4	1,786.3

※1 公社は短期のみ。 ※2 前工団は短期(一借り)も含む。

■全体の借入金残高の推移(臨財債を除く)

